

主任児童委員連絡会活動紹介

都筑区

都筑区は、18区の中でも18歳以下の人口が多い区です。また転入転出も多くアウェイでの子育て環境の方が多く、育児不安を抱える方もいます。都筑区主任児童委員連絡会では、「ネットワーク」を大切にしています。様々な機関や人との繋がりが、子育て支援に繋がると考えています。私たちの主任児童委員同士の繋がりを深め、なんでも相談ができる関係づくりがまずは第一と考え、明るく活発な委員会を目指しています。それぞれの担当地区で公園遊びや、サロンの運営、全員で区民祭りでのオレンジリボンの啓発活動も積極的

に行なっています。まずは、区民の方に私たちを知ってもらうことが相談支援につながります。今後も「ネットワークで子育て支援」に取り組んでいきます。

都筑区主任児童委員連絡会 代表 木村 博子



主任児童委員連絡会ミニ研修

7月11日に北部地域療育センターの齊藤共代氏をお迎えして「多様な発達の子どもたちの育ちを支えるために」というテーマでミニ研修を行いました。地域療育センターの概要の後、主に障害についての説明を受けました。その中で、「機能的・器械的な障害があっても、そこを補うものがあれば障害にはならない」、「補うものとは皆さんの理解と対応だ」というお話がとても印象に残りました。子育てサロン等でいろんな親子と接する機会のある私たち主任児童委員の心の持ち方を改めて考えさせられた研修でした。



広報紙作成委員会
魚谷 晶子

療育センターとは

地域療育センターは、0歳から小学校期までの障害のある子どもや発達に心配のある子どもについて、発達の相談、医師の診察、療育などを行う施設です。横浜市内には9つの地域療育センターがあります。

地域療育センターでは医師や看護師、ソーシャルワーカー、保育士など様々な専門職が勤務しており、相談から療育まで一貫したサービスを行います。

また、子どもとその家族が家庭や地域の中で安心して生活できるよう、福祉保健センターや学校、保育所、幼稚園など関係機関と密接に連携し支援を行っています。



編集後記

一斉改選後の新体制が船出をしてもうすぐ10か月が経ちます。地域での訪問活動から新しいつながりができ、民生委員の活動がなんとなく見えてきた印象を持つ方、日々忙しい中、何とか時間を割いて活動をするけれど、これでよいの？と少し不安に感じる方がいらっしゃるかと思います。先輩民生委員も初めから何もかもが理解できていたわけではありません。いろいろ失敗も繰り返したでしょう。様々な研修もその時の心の持ちようでいろいろと新しい気づきがあります。

ゆっくりで構いません。お互いに助け合いながら前に進んでいきましょう。

広報紙作成委員会 顧問 梁田 理恵子

【委員長】 松浦 正義
【顧問】 梁田 理恵子
【委員】 小林 政晴 今井 典代
黒川 曉博 中村 好美
鈴木 敦子 小嶋 優
紅林 千津子 魚谷 晶子



よこはま民児協だより

会長 あいさつ

令和5年7月に89名の民生委員児童委員と8名の主任児童委員が委嘱されました。新たな仲間が加わり、ともに活動していきたいと思います。社会情勢もコロナ前に戻ってきました。私たちの地域における活動も以前のような内容に、少し工夫を凝らした活動になってきたと思われます。この4年間、特に2期目の委員の方にとってはいろいろな経験を積む機会が失われ初めて体験すること多いことでしょう。中堅の委員の方が中心となって、地区民児協内でいろいろな体験をもとにした研修の機会を設けて、委員の方が自分に置き換えた場面を想定して考えていくことも大切と考えます。

地区会長の方は研修会に参加される機会が多いので、学ばれた内容を地区民児協内で今度はご自分が講師となって皆様に伝えましょう。

研修というと堅苦しく思われがちですが、私たちの日々の活動の中で必ずどこかで生かされています。市民児協でも気軽にいつでも視聴できる研修動画の配信を行う予定です。

ともに学び合い、協力して民生委員児童委員・主任児童委員の活動を進めていきましょう。

横浜市民生委員児童委員協議会 会長 石井 マサ子

区会長・副会長研修
開催報告

令和5年5月2日、福祉保健研修交流センター ウィリング横浜にて、横浜市民児協区会長・副会長研修を開催しました。

田園調布学園大学 村井祐一 学部長・教授より、困っている方に寄り添い、これからも住み続けたいと思う地域づくりを信頼できる仲間や関係機関と連携して行うことができる点も民生委員の魅力ではないかというお話をいただきました。

「魅力ある民生委員活動を考える」をテーマにグループワークを行い、民生委員活動でのやりがいや魅力、経験したエピソードについて共有しました。

詳細は、2面に記載！▶

地区会長研修 開催報告

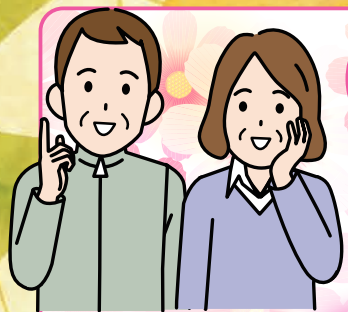
令和5年6月7日、神奈川公会堂にて、横浜市民児協地区会長研修を開催しました。東京工芸大学 大島 武 芸術学部学部長より、「人を動かす！コミュニケーション技術」をテーマとし、地域での活動を円滑に行うためのコミュニケーション技術についてご講義をいただきました。

大切なことは、進め方や自分の考えを一方向的に伝えるのではなく、話し合い、お互いに考えながら同じ方向を向いていくこと。人は8割程度視覚からの情報のため、非言語コミュニケーションであるアイコンタクトや笑顔のビジュアルについても効果的である等のお話がありました。

日々活動をしている中で、改めてコミュニケーションの大切さを感じられるような研修となりました。



民生委員・児童委員のやりがい



民生委員・児童委員、主任児童委員は大変という印象がありますが、活動している委員からはやりがいがあるという声も聞かれます。

そこで、委員活動の原動力や魅力を再確認しようと、区会長・副会長研修のテーマとし、意見交換を行いました。

家族の介護があった時、ケアプラザの情報に詳しくなったことも強みだと感じた。

活動を通じて、地域の実情を知ることができた。

身近なボランティアを連れて行っている方々と出会えて、自分自身も積極的に行動できるように変わった。

町を歩いていても声をかけてもらえる。



民生委員になったことで、多くの人と出会い、人間関係が豊かになった。

こんなエピソードもありました

- ▶ 訪問時に渡している手紙を楽しみにしてくれて、大事に取っておいてくれている人がいた！嬉しい気持ちになった。
- ▶ はじめは大変と感じていた訪問が、回数を重ねると顔なじみになり、今では行くと元気になる。
- ▶ 欠員のところを回った時、「遠くから来てくれてありがとう」と言って、折り紙の駒を持ってきてくれた人がいて嬉しかった。
- ▶ 0歳だった子が18歳になり、今でも声をかけてくれる。成長している姿が見られることはうれしい。

心配事・悩みについて、各地区ではこのような対応しています！



一人で訪問するのが心配。

- 訪問は一人ではなく二人で回るようにしている地域もあります。迷っているときは、周りの委員や会長、ケアプラザ等に相談してみましょう。
- 協力員制度等を行っている地域では、複数人で訪問しています。



プライベートな話を聞いてしまったが、守秘義務があるので相談できない。

- 守秘義務（民生委員法第15条）はありますが、必ずしも一人で抱えるものではありません。委員の仲間や会長に相談したり、必要であれば関係機関と共有しましょう。



仕事との両立が難しい。

- 私の地区では、「できるときに、できるひとが、できることをやる」を合言葉にしています。
- 仕事をしているメンバーが多くなったため、今まで昼に行っていた会議を夜や土日に変更しました。



民生委員は、住民から様々な生活上の困りごとや心配ごとに関する相談に応じ、必要な支援を受けられるよう専門機関につなぐ「つなぎ役」としての役割を担っています。

一人では対応が難しいことや悩みごと等は、地区民児協定例会などの場で相談し、委員同士で支え合い活動を進めていきましょう。

また、嬉しかった事例ややりがいを感じたエピソードを共有することは、活動を前向きにとらえるきっかけとなり、日々の活動のエネルギー源となります。皆さんも、委員活動の魅力について話し合ってみませんか？

地区民児協活動報告

港南
保土ケ谷 金沢

毎号3区ずつ、特徴的な取り組みをしている地区を取り上げていきます。

港南区 ひざり地区

高齢者から子どもたちまで

●「地域ささえあい訪問だより」の発行

ひざり地区民児協は、1996年（平成8年）から、ひとり暮らし高齢者や災害時要援護者などに、「訪問だより」を届けています。「毎月、民生委員とお話ができるのが楽しみです。これからもお願いします。」などの声をいただきます。



●「子育てサロン・ほっとみるく」の開催

毎月第2月曜日、0歳から小学校入学前のお子さんと保護者を対象に、子育てサロン「ほっとみるく」を開催しています。内容は、人形劇・子ども遊び・リトミック体操・公園遊び・クリスマスコンサートなどです。

「ひざり地域ささえあい訪問だより」「ほっとみるく」は、【ひざり連合・日限山・港南プラザ・にしあらい】自治会ホームページに掲載されています。アクセスしてください。

会長 和田 弘



保土ケ谷区 新桜ケ丘地区

～世代を超えて～ふれあい いろいろ

新桜ケ丘地区は区を中心から南西部に位置し、旭区に隣接しています。

地区民児協は10人で構成され「顔の見える関係づくり」を大切に活動を行なっています。

日々の高齢者見守りは勿論ですが、特徴として小学校の視聴覚室をお借りして高齢者支援のミニデイサービス「よつ葉会」、子育てサロン「おもちゃばこ」を開催しています。デイサービスでは毎回高齢者と1、2年生の児童との交流の時間を設けゲームをしたり、クイズをしたりします。コロナ禍で暫く中断していましたが復活することになり高齢者も児童とのふれあいでパワーを頂いています。

子育てサロンは毎週開催しており、いずれ入学する子どもや親たちとのよい関係が築かれています。また学校行事の際には、親が学校ときちんと向き合えるよう未就学児の保育も行なっています。市民活動が盛んな地域なので様々な活動と連携することが多く、それぞれのふれあいの機会を楽しんでいます。

会長 中村 好美



金沢区 釜利谷地区

一人暮らし高齢者一斉訪問事業

釜利谷地区は金沢区の中でも一番大きな民児協で、36名で活動しています。日々の見守り活動はもちろんですが、年に3回、小さなプレゼント（カルシウム入りビスケット・マスク・ボックスティッシュなど）を持って、70歳以上の一人暮らしの方や民生委員からみて気になる方、620名を対象にお伺いしています。

前回は、「ペットボトルのふたが開けにくいのではないか」と委員からアイデアが出て、ペットボトルオープナーを持って訪問したところ、すごく開けやすくなったと大変喜ばれました。

普段あまりしゃべらない方や心を閉ざしている方とも話をするきっかけづくりになるので、とても役立っています。

会長 寺木 好子

